令和7年9月定例会一般質問発言通告表

発言 3 議席 6 氏/ 順序 3 番号 6 氏/	名 中野健太郎 議員	1/1
発言項目	要	答弁者
1 〔中小企業支援〕福 利厚生で選ばれるまち に!	大企業には及ばない給与水準の中小企業が、人材の採用・定着を進めるには「給与以外の職場魅力づくり」が重要になる。特に子育て支援・学び直し支援・生活の質向上などの面で、柔軟かつ多様な福利厚生を提供することが差別化の鍵と言われている。地域経済の活性化と人材定着の観点から、以下質問する。	副 市 長 長 長 長 長 長
	(1) 富士宮市の統計によると、市内事業所は5,319社(令和 3年)に上る。中小企業で福利厚生(法定外福利厚生)を 導入している割合を把握しているか。	
	(2) 富士宮市勤労者共済会 (ハピネスふじやま) の368事業 所2,162名(令和7年4月1日現在)という会員数について どう捉えているか。また、共済制度のスケールメリットを より一層周知すべきではないか。	
	(3) 大手企業の選考に参加した学生を対象にした調査の中で、選考に参加する決め手について「福利厚生が手厚い」という回答が最多で51.5%(マイナビ2025年卒大学生活動実態調査(4月))という事実がある。一方で、労使間や世代間のギャップにより、就活者が魅力を感じづらい福利厚生制度を続けているケースも見受けられる。制度の定期的なアップデート、若年層が求めている制度の紹介、情報プラットフォームの整備などの行政支援策を検討すべきではないか。	
2 〔民間活力〕ネーミングライツの導入を!	人口減少や少子高齢化の影響により、将来的な税収の減少は 避けられない。公共施設の維持管理や更新には多額の経費が必 要であり、持続可能な市政運営のためには、新たな財源の確保 と民間活力の活用が求められる。 近隣の富士市では、富士市総合体育館においてネーミングライツ(命名権制度)を導入し、現在「北里アリーナ富士」として 親しまれている。また全国を見渡すと、スポーツ施設のほか、 文化施設、公園、市道など様々な場面でネーミングライツの導入が進んでいる。 企業との協働による地域活性化、市民にとって親しみやすい 施設名称の普及、市の魅力発信と新たな財源確保といった利点 があることを踏まえ、以下質問する。 (1) 富士宮市として、公共施設へのネーミングライツ導入を 検討したことはあるか。 (2) 近隣の富士市「北里アリーナ富士」の事例等を参考に、 財源確保策の一つとして積極的に導入を進める考えはある	副 育長長
	か。 (3) 導入に当たって、市民の理解を得るためにはどのような ルールや仕組みが必要と考えているか。	